

2026年1月28日作成 Ver.2.0

《情報公開文書》

長崎大学病院における下咽頭癌に対する導入化学療法としての TPF(ドセタキセル+シスプラチン+フルオロウラシル)療法と PCE(パクリタキセル+カルボプラチン+アービタックス)療法の治療成績の比較

研究の概要

【背景】下咽頭癌に対する導入化学療法は、喉頭を残し発声の機能温存に有用であると報告されています。これまでは TPF(ドセタキセル+シスプラチン+フルオロウラシル)療法が標準的な治療法として行われてきましたが、その強い副作用が問題視されてきました。一方で PCE 療法は副作用が少なく、その後の化学放射線治療を完遂しやすいと報告されており、現在当科でも 2020 年 11 月から導入化学療法として PCE(パクリタキセル+カルボプラチン+アービタックス)療法を行っています。

【目的】2016 年以降の長崎大学病院における下咽頭癌患者さんの、導入化学療法やその後続く根治治療の成績を明らかにしたいと考えています。

【意義】長崎大学病院で下咽頭癌を治療する患者さんに自施設における導入化学療法やその後続く根治治療の内容や成績を示すことができ、治療選択が行いやすくなります。

【方法】通常診療にて得られる診療データを用いて、当院の下咽頭癌の患者さんに対する導入化学療法やその後続く根治治療の内容や予後を検討します。

対象となる患者さん

下咽頭癌の診断で 2016 年 1 月 1 日以降に初めて導入化学療法やその後続く根治治療を受け、2023 年 11 月 31 日までに治療が終了した患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 患者さんの背景：性別、年齢、下咽頭癌以外に治療中の病気があったかを確認します。
- 病理検査：対象の疾患であることを確認します。
- 画像検査：診断時の病気の状態の確認、治療後の下咽頭や肺の状態を確認します。
- 治療内容：どのような治療を行ったか確認します。
- 治療中の経過：治療時の副作用や合併症について専用の指標を用いて評価します。
- 治療後の経過：治療後の経過について確認します。

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 2 月 12 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 氏名：諸富 幸 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7349
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 諸富 幸
 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号
 電話：095 (819) 7349 FAX 095 (819) 7352

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200
 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）